事例No.	3212
公表年度	R6
団体の属性	その他
団体名	羽州街道「楢下宿」研究会

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

茅葺文化の適正な保存と活用を通した歴史まちづくり

出典

令和６年度優良事例表彰

全国過疎地域連盟会長賞

山形県上山市（かみのやまし）

羽州街道「楢下宿」研究会（うしゅうかいどう ならげしゅく）

茅葺文化の適正な保存と活用を通した歴史まちづくり



羽州街道「楢下宿」研究会のみなさん

審査講評

評価のポイント

- 多様な主体と協働した茅葺文化の保存・再生とともに、地域循環型のサイクルを実践している点。
- 歴史的建造物と地域のコミュニティが相乗し、まちづくりへの愛が育まれ、次世代に向けた教育が深まっている点。
- リジェネラティブ・サスティナビリティ（再生型持続可能性）の好例である点。

審査委員のコメント

「再生」という手法で、交流人口と関係人口を広げる

400年以上続く「楢下宿」のことが大好きな羽州街道「楢下宿」研究会のみなさんが、茅場の再生という手法を取って交流人口と関係人口を拡大しています。小学生や大学生が仲間となり、歴史的建造物の保存にとどまることなく、地域の文化・経済、そして教育と環境の未来を考え、主体的に取り組むコミュニティに発展させていることが印象的でした。「活動を長く続けるためには、ぼちぼちと。自分たちがまず楽しむことが大切」という同研究会会長の佐藤司郎さんの言葉は現在のまちづくりの手法の核心をついています。



取組の概要

自分たちが楽しみながら楢下宿をよりいっそう盛り上げるとともに、ふるさとで受け継がれてきた貴重な茅葺文化の適正な保存と、江戸時代の宿場の風情を今に伝える歴史的建造物の活用を図るため活動している。

楢下宿では茅葺文化を地域で守り、正しく後世に伝える「かみのやま草屋根プロジェクト」の実践のほか、地域コミュニティの絆を深めるイベントづくりや宿場の風情を醸し出す歴史的建造物を活かした教育活動などの各種取組を住民主導で実施している。



11月に行う茅刈りを地区を越えたイベントとして実施、令和5年度には総勢80名が参加した



4月末から5月まで集落を横断する金山川に鯉のぼりを泳がせる



春と秋に楢下産そばで来訪者をもてなすそば祭りを開催



全国の学校が実施する社会科見学を受け入れ、国史跡である楢下宿を案内しながら歴史を子どもたちに伝える

取組のKEY PLAYER



佐藤 司郎さん
［羽州街道「楢下宿」研究会会長］

齋藤 誠さん
［かみのやま草屋根プロジェクト発起人］

頑張りすぎず、自分たちが楽しみながら活動している。

研究会は、地域の歴史や文化を活かしながら活力ある地域をつくることを目的に、平成20年に発足した組織です。月1回の話し合いを欠かさずに、楢下宿を盛り上げるため活動しています。

話し合いで出た課題について、「さんなね」（しなければ）ではなく「すっぺ」（しようか）で、自分たちが楽しんで様々な活動に取り組むうちに、次第に人が集まるようになり、活動を楽しみに楢下宿に来てくれる方が増えていきました。

国史跡である殿様も歩いた宿場の街並みを活かし、これからもよりいっそう活気ある地域をめざします。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

佐藤 司郎さん［羽州街道「楢下宿」研究会会長］／**佐藤 善美**さん［羽州街道「楢下宿」研究会会員］／**佐藤 三雄**さん［羽州街道「楢下宿」研究会会員］
齋藤 茂美さん［羽州街道「楢下宿」研究会会員］／**佐藤 道子**さん［羽州街道「楢下宿」研究会会員］／**佐藤 はるみ**さん［羽州街道「楢下宿」研究会会員］

山形県上山市（かみのやまし）

団体名……羽州街道「楢下宿」研究会
所在地……〒999-3225 山形県上山市楢下58
連絡先……TEL：023-674-2426
E-mail：jykn-58@outlook.jp

